

研究助成

平成6年度東レ科学技術賞・研究助成

東レ科学振興会から次の概要が届きましたのでお知らせいたします。応募用紙は日本天文学会までご請求下さい。

I. 東レ科学技術賞 (概要)

- 候補者の対象……貴学協会に関する分野で、下記に該当するもの
 - (1)学術上の業績が顕著なもの
 - (2)学術上重要な発見をしたもの
 - (3)重要な発明をして、その効果が大きいもの
 - (4)技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの
- 科学技術賞……1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円、2件前後。
- 候補者推薦件数……1学協会から2件以内

II. 東レ科学技術研究助成 (概要)

- 候補者の対象……貴学協会に関する分野で基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者。
- 研究助成……総額1億3千万円前後、10件程度。
- 候補者推薦件数……1学協会から2件以内。
- 学会必着日 (I, IIとも)

……平成6年9月26日(月)

第2回日産科学賞候補者推薦について

上記の推薦依頼が天文学会にきておりますのでお知らせ致します。

日産科学賞候補者推薦要領

1. 趣旨

若手・中堅の研究者で、特に顕著な業績にたいして表彰し、励ましとさらに研究の発展を期待して支援をする。

2. 推薦基準

自然科学分野 (人文・社会科学分野との複合領域を含む) で、下記により学術文化の向上発展に大きな貢献をした満50歳未満 (平成7年3月末時点) の公的研究機関に所属する研究者とします。

- 学術研究上重要な発見をした
- 新しい研究分野を開拓した

※45歳以下で上記基準に該当する方がおられる場合は、優先的にご配慮願います。

3. 推薦者

貴学協会の代表者

4. 推薦依頼数

1名

5. 賞の内容

正賞……賞状、メダル

副賞……研究奨励金500万円 (受賞者の研究のための助成金)

6. 推薦手続

所定の用紙に必要事項を記入し、天文学会に提出して下さい。

7. 学会締切

平成6年8月15日(月)

8. 問い合わせ：日本天文学会

日本証券奨学財団 平成6年度研究調査助成募集

標記助成金の募集要項が、学会宛に届いております。対象者は、大学に於て学術文化の研究調査に従事している個人又はグループで、研究者は55歳以下ですが、グループ代表者は55歳以下とは限りません。

理学・工学については、新素材及び環境改善に関する萌芽的研究を重視することとします。

◎助成金総額：6,000万円

1件につき100万円程度で、多額の経費を必要とする特別研究調査は、300万円以内。

◎申込締切：天文学会での受付は8月9日までとします。

会務案内

平成6年度秋季年会実行委員会発足のお知らせ

総会でのご了解に基き、理事長の指名を受け理事会の承認により、平成6年秋季の年会は以下の実行委員により行われることとなります。春季の経験と反省に基づき、また皆様のご意見をとりいれて、より満足いただける年会に致したいと存じますのでよろしくご協力お願い申し上げます。

年会実行委員会：渡邊鉄哉 (委員長)、唐牛 宏、戎崎俊一、常深 博、羽部朝男、水野孝雄、福島登志夫、大橋隆哉、半田利弘、蜂巢 泉、谷口義明、須藤 靖、渡部潤一、中野武直 (順不同)

watanabe%40.921.decnet@utsun.s.u-tokyo.ac.jp

okaroji@cl.mtk.nao.ac.jp

ebisu@kyohou.c.u-tokyo.ac.jp

tsunemi@oskar.kek.jp

habe@phys.hokudai.ac.jp

mizuno@yamabuki.u-gakugei.ac.jp

toshio@spacetime.mtk.nao.ac.jp

ohashi@yamabuki.comp.metro-u.ac.jp
handa@ghz.mtk.ioa.s.u-tokyo.ac.jp
hachisu@kyohou.c.u-tokyo.ac.jp
tani@astroa.astr.tohoku.ac.jp
suto@yayoi.phys.s.u-tokyo.ac.jp
owatana@cl.mtk.nao.ac.jp
nakano@nro.nao.ac.jp

渡辺鉄哉 (庶務理事)

日本天文学会会員電子メールネットワーク tennet 運用開始のお知らせ

1 はじめに

日本天文学会では、会員間の相互情報伝達・理事会などからのお知らせを天文月報を通じて行っておりますが、昨今の急速な電子メールの普及にともない、電子メールでの情報伝達の可能性を検討しておりました。このたび、株式会社富士通のご厚意により、日本天文学会ワークステーションが寄贈されましたのを機に、電子メールでの伝達が可能となりましたので、お知らせ致します。

2 名称

tennet 天文学の「天」+「ネットワーク」の意味です。右から読んでも tennet 左から読んでも tennet と覚えて下さい。

3 アドレス

tennet@ten.c.u-tokyo.ac.jp

日本天文学会所有のワークステーション ten は大学間 IP ネットワーク (昔の JUNET) に接続されています。パソコン通信 (Nifty-serve) とのメール交換も可能と思われ (この場合、パソコン通信料金等が該当企業から各自に請求されます)。ただし、登録されていない方がこのアドレスにメールを送られても自動的に配信拒否しますので、使用開始前に必ず登録を済ませて下さい。なお、tennet 運用管理者のみへのメールは tennet-request@ten.c.u-tokyo.ac.jp へお送りください。こちらは tennet 本体へ未登録の方でもアクセスできます。この場合、Subject: を help とすると、簡単な案内が送られます。Subject: を、subscribe とすると、メイリングリストへ登録されます。Subject: を unsubscribe とすると、メイリングリストから削除されます。ただし、この方法では登録されたアドレスとは違うアドレスからは削除できません。引越しなどで登録されたアドレスからは発信できない人は、そのむねを tennet-request に連絡して下さい。管理者がマニュアル操作で削除します。登録申請に際しては、日本天文学会会員 (特別・通常) であることが必要です。注) ワークステーションが東京大学教養学部仮設されておりますので、アドレスの後半が東京大学教

養学部のものになっています。日本天文学会独自のアドレス取得も検討中ですが、時間がかかりそうなので、当面の間ご容赦ください。

4 方式

上記アドレスに送られたメールを、日本天文学会が把握している電子メールアドレスリストに登録されている全ての方へ直接配送します。このため、登録されますと受け取られるメール数が急増する恐れがあります。必要な情報のみ受取手の側で選択できるシステムも検討していますが、日本天文学会の技術力が未熟なため、よい方法がすぐに見つかっておりません。この点、ご留意ください。

5 規模

5月25日現在、約500名が登録されています (特別会員+通常会員)。日本天文学会の会員総数は特別会員約1000名、通常会員約2000名です。登録されていない方へは、このメールを通じては連絡が行きませんので、ご留意ください。なお、日本天文学会からの公式な案内・報告は従来通り、「天文月報」誌上にて行います。

6 利用上の注意

メールは日本語でも結構です (7 bit-JIS)。必ず発信者の名前とメールの主題を文の先頭にお書き添えください。ただし、メールの Subject の欄には日本語を使わないで下さい。

7 謝辞

メールアドレスの作成に当たりましては、「天文情報処理研究会」の全面的なご協力をいただきました。ありがとうございました。また、運用のためのワークステーションを「株式会社富士通」から寄贈していただきました。重ねて感謝いたします。

戎崎俊一 (tennet 運用責任者)

May 25, 1994

会員名簿を作ります

会員の新しい名簿を今年11月1日現在で発行したいと考えています。住所・勤務先・電話番号等を変更された方、或は変更を予定している会員は、忘れずに天文学会事務局までご連絡下さい。

ご連絡は会員名簿に綴込みのはがきか、その他の記録の残る方法をお願いします。また FAX の場合は大きな字でお知らせ下さい。

(氏名欄に会員番号を併記しえ下されば大変助かります)

(学会事務局)

日本天文学会早川幸男基金募集要項

日本天文学会 早川幸男基金 (若手海外学術研究援助基金)内規に基づき*, 海外学術研究に対する援助者の募集 (1994年度2期分)を以下の要領で行ないます。

1. 援助金総額 年間約 100 万円
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象期間 1994年7月1日～9月30日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わずすでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類 (A4紙に統一すること)
 - (1) 応募用カバーシート (本誌3月号の応募用紙をA4に拡大コピーして使用する)
 - (2) 論文リストおよび関連研究論文の写し (一編)
 - (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しかそれに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
 - (5) 研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与 (口頭発表等)を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書
5. 募集締切 1994年6月30日
6. 決定時期 1994年7月上旬
7. 応募書類送付先

〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内

日本天文学会 早川基金募集係

*早川基金内規(天文月報第85巻第12号参照)による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費(滞在費を除く)の援助を受けない者。」です。
今年度はこの後、9、12、3月の10日締め切りで募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

学 界 動 向

1994年地球惑星科学関連学会合同大会事務局からのお知らせ

1994年地球惑星科学関連学会合同大会は、本年3月20日～23日に、仙台の東北大学川内北キャンパスにおいて、セッション参加7学会、シンポジウム共催6学会の計13学会の参加のもとで開催されました。今回の合同大会では、1121件の発表が行われ、参加登録者数は1769名

の盛会でした。年度末のご多忙中にもかかわらずご参加された関係各学会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

次回、1995年合同大会は東京の日本大学文理学部におきまして、1995年3月27日(月)～30日(木)に開催が予定されております。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、今回の合同大会予稿集(郵送料込み、5,000円)には、まだ残部がありますので、今回の合同大会での発表内容に興味のある方は下記、合同大会事務局までお申し込み下さい。

1994年合同大会委員長 青木謙一郎

合同大会事務局：〒980 仙台市青葉区川内 川内北キャンパス

東北大学理学部 地球物質科学科内

1994年合同大会事務局

Tel. 022-222-1800 (5387)

Fax. 222-263-9279

(なるべく、ファックスで送付先と部数をお知らせ下さい)

共同利用・共同研究

第3回「あすか」公募観測の案内 (AO3)

現在宇宙研のX線衛星「あすか」によるX線観測の提案(第3回公募観測:AO3)を募集中です。この第3回公募観測は平成6年(1994年)11月中旬～平成7年(1995年)11月中旬の1年間を対象として実施致します。応募締切は8月15日です。 「あすか」によるX線観測に関心のある方はふるって応募下さるようご案内申し上げます。

なお、応募資格、応募方法、問い合わせ先等、応募の要領については、宇宙研の宇宙圏研究班班員など一部の方には郵送しておりますが、その写しが下記の通り宇宙研のanonymous ftp領域、

ホストアドレス: ftp.astro.isas.ac.jp (133.74.7.31)

ファイル名: /asca/planning/go3/ASCA AO3.euc

に入れてありますのでこれを併せてご参照下さい。

連絡先

電話: 0427-51-3911 (ex 2611)

FAX: 0427-59-4253

e-mail: nagase@astro.isas.ac.jp

長瀬文昭 (宇宙科学研究所)

NRO 45 m 電波望遠鏡

第XIII期共同利用観測プログラム公募

45 m 鏡電波望遠鏡の第XIII期共同利用を以下の予定で行います。

1. 実施時期: 1994年11月より1995年5月まで(前期)

および後期)

2. 観測プログラム申込(注): 所定の用紙を用い8部(レフェリー7名+NRO共同利用事務1部), 長期共同利用は13部(レフェリー5名+プログラム小委8名)作成の上, NROあて送付のこと.

前期締切: 1994年6月6日(月)15時

(主に1994年11月~95年3月にスケジュール)

後期締切: 1994年10月24日(月)15時

(主に1995年2月~95年5月にスケジュール)

長期共同利用締切: 1994年6月6日(月)15時

(一般前期と同じ)

(NRO必着のこと. FAXは原則として受理しません.)

3. 申込先: 〒384-13

長野県南佐久郡南牧村野辺山

野辺山宇宙電波観測所 共同利用係 宛

電話 0267-63-4386

封筒に「共同利用プロポーザル在中」と朱記のこと.
(用紙の請求・質問等も共同利用係関口妙子まで,
taeko@nro.nao.ac.jp)

4. 審査法: レフェリーによる審査を経て, プログラム委員会が調整, 採否を決定します. なお, 長期共同利用に関してはステータスレポート参照のこと.

5. 観測時間の割当: プログラム小委員会が採択したプログラムについてNROが時間を割り当て, 研究代表者に通知します(前期の採否通知は8月下旬の予定).

(注1) 観測者の様々な要求やレフェリー制度変更に対応し, またプロポーザル評価や観測スケジュールリング作業を容易に行えるように, 観測申し込み用紙を昨年全面改訂し, 今年一部修正しました. 従って**新しい応募用紙を使ってください.**各プロポーザルに対するレフェリー人数が3人から7人に増えました. これに従って各レフェリーには以前にもまして負担が大きくなります. 従って, 観測の目的・意義などを書く**別紙は, 一般共同利用では2枚以内に, 長期共同利用では4枚に制限します(図表を含む).**これらが満足されていない時は, 不採択の理由となる場合があります.

国立天文台 野辺山宇宙電波観測所
所長 石黒正人

研究会・集案案内

第8回天文教育研究会

第8回天文教育研究会実行委員長 佐藤 健
今年夏の天文教育研究会を下記の要領で開催いたします. 天文教育普及研究会会員以外の参加も歓迎いたします.

集会名: 第8回天文教育研究会

主催: 天文教育普及研究会

共催: 美星天文台

後援: 岡山県教育委員会, 鴨方町教育委員会,
美星町教育委員会

日時: 1994年8月1日(月)~8月4日(休)

会場:

8月1日鴨方町農協集会室

(宿泊: 遙照山簡易保険保養センター)

2日遙照山簡易保険保養センター(宿泊も同じ)

8月3日及び4日

美星町民会館

(宿泊: 星の郷ふれあいセンター)

参加費: 3000円(会場費, 名札代等)

開会全体会: 開会挨拶・事務連絡

「学校教育における天文教育」

天文教育普及研究会ワーキンググループ

日本天文学会ワーキンググループ

社会教育・一般普及家から見た学校教育
総合討論

分科会1: 学校教育・社会教育

分科会2: 一般普及・一般研究発表

全体会2: 「天文教育とアマチュア」

記念講演: 講師 唐牛 宏(国立天文台助教授)

すばる望遠鏡について

総 会: 天文教育普及研究会

全体会3: 各ワーキンググループ報告, 総合討論

閉 会: 閉会行事

オプションツアー: 文部省国立天文台

岡山天体物理観測所

申込み・問い合わせ先:

〒714-14 岡山県小田郡美星町大倉 1723-23

美星天文台内

第8回天文教育研究会実行委員会事務局

TEL 0866-87-4222 FAX 0866-87-4224

編集委員 谷川清隆(編集長), 坂尾太郎, 田代 信, 中川貴雄, 中村 士, 濱部 勝, 林 左絵子, 半田利弘	平成6年6月20日	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12	啓文堂 松本印刷	
定価 700円(本体 680円)	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内	社団法人 日本天文学会	
	電話 (0422)31-1359 (FAX自動切換)	振替口座 東京 6-13595	